

# 平成 30 年度 第 12 回 名古屋市立大学病院臨床研究審査委員会議事録

日時 : 平成 31 年 3 月 6 日 (水) 午後 5 時 20 分から午後 5 時 45 分まで

場所 : 病棟・中央診療棟 10 階 第 4 会議室

出席者: 委員長 齋藤 伸治 名古屋市立大学病院小児科部長 (医学/医療)  
 委員 青木 康博 名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野教授 (医学/医療)  
 福留 元美 名古屋市立大学病院看護部副看護部長 (医学/医療)  
 葛島 清隆 愛知県がんセンター研究所腫瘍免疫応答研究分野分野長 (医学/医療)  
 塚田 敬義 岐阜大学大学院医学系研究科教授 (生命倫理)  
 杉島 由美子 中京大学法学部教授 (法律)  
 宮前 隆文 宮前法律事務所弁護士 (法律)  
 天野 初音 天野社会保険労務士事務所社会保険労務士 (一般)  
 安藤 明夫 中日新聞社編集委員 (一般)  
 吉田 健一 名古屋市教育スポーツ協会副理事長 (一般)  
 欠席者: 委員 窪田 泰江 名古屋市立大学看護学部臨床生理学分野教授 (医学/医療)

## 1. 議事録確認

第 11 回の議事録の確認がなされ、了承された。

## 2. 報 告

「名古屋市立大学病院臨床研究審査委員会について (平成 31 年 3 月 19 日部長会報告資料)」により平成 30 年度の活動実績及び平成 31 年度の予定について事務局から報告があった。

## 3. 議 題

### 特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A012
課題名	糸球体疾患に対する上咽頭治療
実施計画提出日	平成 31 年 2 月 27 日
研究責任医師	福田道雄 (名古屋市立大学病院腎臓内科)
説明者	福田道雄 (名古屋市立大学病院腎臓内科)
審議参加委員	齋藤伸治、青木康博、福留元美、葛島清隆、塚田敬義、杉島由美子、宮前隆文、天野初音、安藤明夫、吉田健一
COI 該当委員	該当なし
審議対象研究に関与する委員	該当なし
審議結果	承認 ・全会一致
審査意見業務の過程 (申):申請者 (医):医学/医療 (法・生):法律又は生命倫理	(申) 前回委員会でご指摘いただいた事項を修正させていただいた。こういった塩化亜鉛の治療が多くの病院で行われていることについて、企業に見解を問い合わせたところ、あくまで試薬として提供しているため、点鼻により治療に使用されていることについての善悪・良否は了知していない、とのことであった。 (法・生) 先生のところ以外では、どの程度、行われている、もしくは行われていたものなのか。 (申) 100 には至らないが 50 を超える病院で行っている。 (医) この研究は腎臓の話であるが、それ以外に耳鼻科領域で炎症があるときに広く使われているということによかったか。

	<p>(申) 広く耳鼻科で使われている。</p> <p>(医) 地域性はあるのか。</p> <p>(申) 古い耳鼻科の先生の間では、昔から広く行われていると伺っている。</p> <p>(法・生) 全額自己負担とあるが、健康保険を使わないということでよいか。</p> <p>(申) その通りである。大体、700 円位の負担となっている。</p>
--	---

#### **4. 今後の予定**

今回は、4月10日（水）午後5時半開始予定との周知があった。